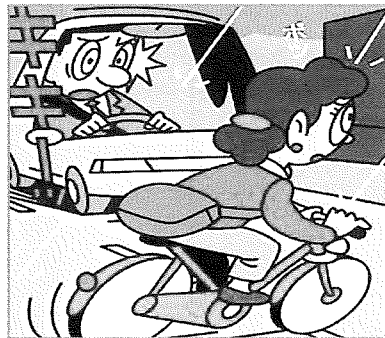


## ～梅雨にむけて～ 雨天時の安全運転のポイント



6月は梅雨入りの季節です。雨天の道路状況は交通事故のリスクが高まります。

雨天の車両の運転や歩行者・自転車の行動の特徴をつかんでの運転行動や準備が必要です。

### 【運転への影響】

・フロント・窓ガラスやミラーの水滴、そして湿気による窓の曇りによる視界不良。

・水たまりで路面がひかり、車線が見づらい。  
・窓を閉めていることや雨音で、外音が聞こえ難い。

### 【雨天時の道路状況】

・路面が濡れ、制動距離が長くなる。  
・歩行者や自転車が傘をさしたりカッパを着て視界が狭くなっている。

・他の車両も当方同様に視界不良や外音が聞こえにくいため、状況が正確につかめず、危険な車線変更や急ブレーキなどが発生しやすい。

### 【雨天時の安全運転対策】

・3つの急な運転（ブレーキ、ハンドル、発進）をせず、早めの確認で余裕をもった運転。  
・安全確認は「目視」を積極的に行う。  
・日中でも視界不良の際はライトを点灯する。  
・車両整備として、ウォッシュ液の補充、ワイパー交換、エアコンのデフロスター動作、タイヤ溝や空気圧の確認等を行う。  
雨天は車両の運転にとって様々な悪条件がそろっていると云えます。安全運転のポイントを押さえながら、早めの行動・準備を進めていきましょう。